

入学案内 2023

# 新渡戸文化小学校

## 学校見学ガイド

学校説明会の日程は、右記の通りです。  
ご参観いただける学校行事もございますので、  
ぜひ見学にお越しください。

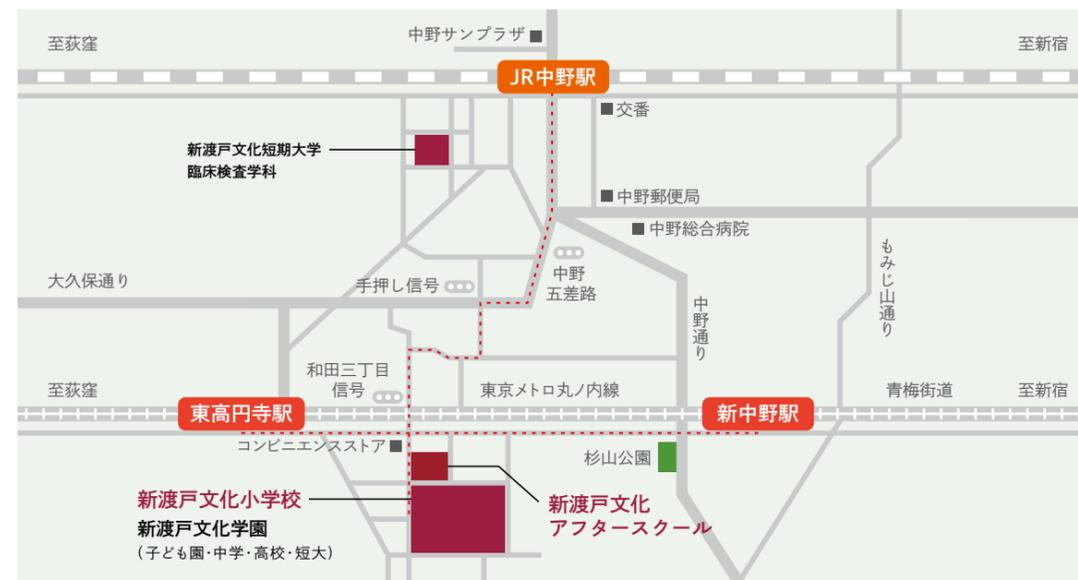
- 学校説明会は予約制になります。ご希望の方は、ホームページよりお申し込みください。
- この他にも見学できる学校行事がございます。詳細はホームページでご確認ください。
- 右記の日程以外でも、ご希望があれば随時ご案内いたします。お気軽にお問い合わせください。

### 学校説明会 (全て2022年)

第1回	2/26 (土)	14:00~15:00	オンライン開催
第2回	5/12 (木)	9:30~11:00	公開授業
第3回	5/20 (金)	19:00~20:00	オンライン開催
第4回	6/11 (土)	9:30~12:00	学校案内
第5回	7/2 (土)	9:30~11:00	アフタースクール体験
第6回	9/8 (木)	14:00~15:00	クラブ見学
第7回	9/17 (土)	9:30~11:30	体験プログラム
第8回	11/26 (土)	10:00~11:30	校内開催

## アクセス

東京メトロ丸の内線「東高円寺駅」から徒歩5分、「新中野駅」から徒歩7分  
JR中央線・東京メトロ東西線「中野駅」から徒歩15分



### 主な駅からの所要時間

〈JR線ご利用の場合〉

新宿駅 ▶ 中野駅 約4分

〈東京メトロ丸の内線ご利用の場合〉

新宿駅 ▶ 東高円寺駅 約8分

荻窪駅 ▶ 東高円寺駅 約6分

〈その他〉

練馬駅 ▶ 東高円寺駅 約23分

バスなどを利用することも可能です。



## 新渡戸文化小学校

新渡戸文化アフタースクール

〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1  
TEL: 03-3381-0124 FAX: 03-3381-0125  
www.el.nitobebunka.ac.jp



新渡戸文化小学校  
公式note



併設校：新渡戸文化子ども園／新渡戸文化中学校／新渡戸文化高等学校／新渡戸文化短期大学



「しあわせ」を  
つくる人になろう。







カリキュラム

自ら問いを立てる、  
考えぬく



### 自律した学びで、自分とまわりの“Happiness”を創り出す

いつの時代も、人が学ぶ目的は「人生を豊かにするため」であることに変わりはありません。しかし、これまで以上に変化が速く予測困難といわれる時代では、学校で学ぶ目的も変化を求められています。

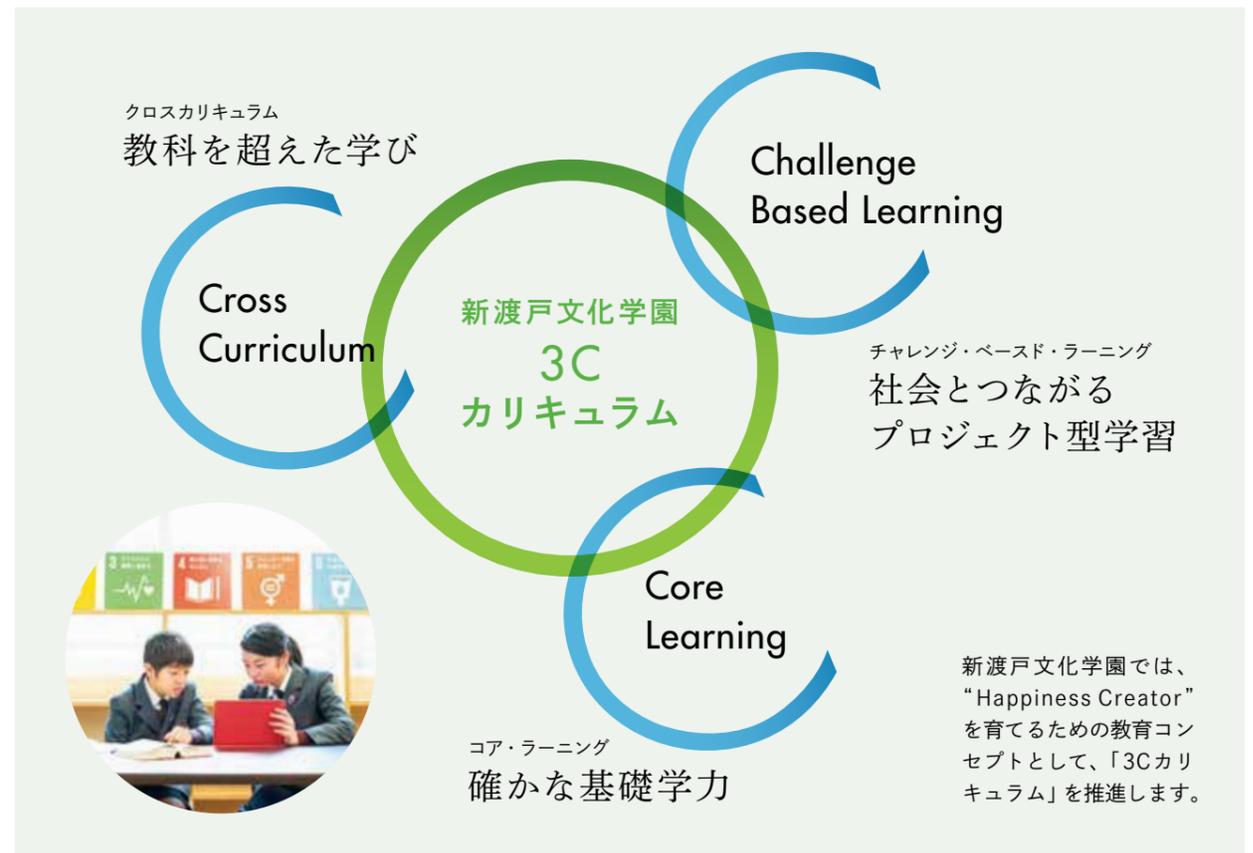
新渡戸文化学園では、初代校長・新渡戸稲造先生の、「世に生まれ出でたる大きな目的は、人のために尽くすことにある。自分が生まれた時より死に至るまで、周囲の人が少しでもよくなればそれで生まれた甲斐ありというもの」という言葉

から、「Happiness Creator (ハピネス・クリエイター：自分とまわりの幸せを創り出せる人)の育成」を教育目標にしました。

そして、「何を教えるか」よりも、刻々と変化する状況を見て自分で考え、選び、実践し、顧みることができるよう、「どう学ぶか」が大切であると考え、学園の担う役割を「自律型学習者の育成」と定義しました。自分の頭で考え、社会の“Happiness”を創り出す子どもを育てることを目指します。



HAPPINESS CREATOR



### Core Learning

夢を実現するための  
確かな基礎学力

基礎学力が定着していることは、さまざまな状況において選択肢が広がるということです。自分のしたいこと・叶えたいことを実現するための学力を身につけるために、基礎学習の習得に力を入れています。従来の学習様式に加え、ICTを活用することで、確かな学力を培っています。

#### iPad・学習アプリを活用した学び

1人1台iPadのインフラを生かし、多種多様の学習アプリを活用しています。個人の進度に合わせて学べるAI型学習アプリ「Qubena」や、iPadで作った回答や意見をクラスで友達と共有する「ロイノート・スクール」を利用。「DQワールド」では、デジタル・シチズンシップをゲーム形式で学びます。教科の学びの成果を表現系アプリでクリエイティブに作り、新たな深い学びを創造しています。

#### 英語学習

1年生から毎週、ネイティブスピーカーと日本人教師のチームティーチング体制で丁寧に指導しています。外国の歌や絵本を導入したり他教科の内容を扱ったりして、子どもたちの気持ちを大切にしています。文化や言葉に触れる機会を通して、外国に対する興味・関心を育み、多文化共生力を養います。





プロジェクト型学習

興味を持ち、  
アクションを起こす



チームで問いを探究する。  
新渡戸文化のプロジェクト科

「授業とは先生の話聞くもの」。その当たり前を崩していくきっかけとなるのがプロジェクト科です。この当校独自の教科では、学年ごとに正解のない「問い」を設定し、チームで探究していきます。プロジェクトの舵取りをしていくのは、子どもたち自身。対話しながら「あれを調べたい」「こんなものを作ってみよう」と計画をたてます。教師はあくまでサポート役で、さまざまな教科の学びと結びつけていきます。新渡戸文化では年間いくつものプロジェクトが展開され、その全てが子どもたちにとって“忘れられない学び”となっていきます。



新渡戸祭でのプロジェクト科の様子をYouTubeで公開中！  
<https://youtu.be/SeZyUix4W0>



Focus 01 エンターテインメント—メッセージをこめるクリエイターに—

つくりだす人になろう。  
そしてメッセージをこめよう

6年生が取り組んだプロジェクトのテーマは「メッセージをこめるクリエイターになる」。そこから、小学校の集大成となるダイナミックなプロジェクトが2つ生まれました。

1つ目のチームが掲げた問いは「私たちは自分たちの考えを“言葉以外”でどう表現できるのか」。コロナ禍の自分たちの想いを、教室全体をつかって表現しました。「何を伝えたいのか」をチームで徹底的に対話して設定し、壁画や立体

アートなどで表現しています。2つ目のチームの問いは「遊びながら学ぶ”の力とは」。遊びながら新型コロナウイルスについて学ぶことができるボードゲームやカードゲームを開発しました。

どちらのチームも問いを探究するなかで、深い対話が生まれました。そしてさまざまな教科の視点をういながら調査をし、最後は社会に向けて発信。プロジェクト科を象徴するダイナミックな取り組みでした。

自分の考えを伝える手段として、「あえて言葉を使わないことでレベルが高くなる」と意気込んで始めたプロジェクト。伝えたいメッセージをひとつの空間に表現するために試行錯誤し、「1人では思いつくことはできなかった」と、チームで行う価値を感じました。



左・新渡戸祭で展示した立体アート 右・完成したボードゲーム。どれも力作です



ホワイトボードやiPadを用い、チームで徹底的に対話しながら進めていきます

Focus 02 オリジナルふりかえりノート・プロジェクト

“ふりかえり”の価値を深めて、  
オリジナルノートを作ろう！

学校で行事が終わるたびにしばしば求められる、「ふりかえり」。でも、何でふりかえるんだろう？ ふりかえると、どんないいことがあるんだろう？ そもそも、「ふりかえり」って、何だ！？ 5年生はそんな少し哲学的な問いから探究をスタート。先生や多くの大人に「ふりかえりの価値」についてヒアリングして、自分にとってのふりかえることの意義を発見していきました。

アウトプットには、自分にとって最高のふりかえりを実現してくれるような「オリジナルふりかえりノート制作」にチャレンジ。デザインも内容も世界にひとつだけのオリジナルノートが完成しました。文具会社のCHORUS株式会社様、日本ノート株式会社様と連携し、ノート制作のポイントや製造過程についても知識を得ることができ、社会とつながるプロジェクトとなりました。

大人はよく「ふりかえりをしよう」と言いますが、本来は他人に言われたからではなく、「自分にとって本当に大切なふりかえり」をすることが大切ですね。オリジナルノート作りを通して、今一度、ふりかえりの意義を考え直すきっかけになりました。



先生にヒアリング

哲学的な問いからスタート！

世の中にあるノートの観察

完成した個性あふれるオリジナルノート

Focus 03 1年生・おもちゃプロジェクト

探究的な活動を低学年のうちから！  
面白いおもちゃ作りに挑戦

東京おもちゃ美術館の人と一緒に「面白いおもちゃとはなにか」について考え、自分でおもちゃをデザインし、作成するプロジェクトに挑戦しています。特に「実際に働いているプロの方からお話を聞く」という経験を大切に、伝統的なおもちゃの話や工房で働く方の話など、プロならではの奥深い話を聞くと、1年生ながら深い気づきや驚きがあった様子。幅広く探究的な活動を低学年から経験しておくことが、好奇心を育み、中学年以降の本格的なプロジェクト活動をさらに活発にしてくれます。



実際に体験することで  
気づきや驚きが！

Focus 04 2年生・HAPPYプロジェクト

SDGsを通して木の大切さを学ぶプロジェクト



「誰かをしあわせにする」ことをゴールに、実践している2年生の「HAPPYプロジェクト」。まずは「SDGs」に着目し、同じ中野区にある木材パレットを扱う会社と連携して木の大切さについて考え始めました。つぎに、新渡戸文化中学・高校の生徒である「FSCジュニア・アンバサダー」と一緒に身の回りのFSCマークを探したり、森林消失の問題を学ぶなかで、環境問題についての意識が変わっていきました。「使い終わってもゴミにしないためには」どうすればいいかを考え抜き、端材を使ったマスコット「森の守り神」が誕生しました。



温かみのある守り神が  
誕生しました！

Focus 05 全学年・新渡戸祭/スタディフェスタ

発信することで、影響を与える。そして学びの価値が生まれる

プロジェクト科の合言葉の1つが「忘れられない、捨てられない結末」です。結末とは、学びを表現するアウトプットのこと。単にまとめるだけではない、チャレンジングな方法で学びを表現します。その舞台となるのが「新渡戸祭」と「スタディフェスタ」です。子どもたちは観客へ学びの成果を発信。お客様からは発信を通じてどんな気づきや学びがあったか、次につながるフィードバックをもらいます。子どもたちは「社会が自分たちの学びに反応してくれている」「自分たちの学びには価値がある！」と感じ、そのエネルギーで学びが加速していきます。



スタディフェスタでの様子

新渡戸祭での発表の様子

Focus 06 新渡戸文化式サイエンスコミュニケーション

2021年度  
取り組みの一例

子どもたち主体で、  
課題解決力を育む

サイエンスコミュニケーション科は、本校独自の教科です。自分や社会の課題とどのように向き合い、ふるまうかを判断していく力と、コンセンサスを形成する力を育てる科目です。子ども自身が、「思考」「対話」「行動」の主体となり、理科(知識や科学的な思考)を土台としています。与えられたテーマへのアプローチ方法は子ども自身が選択し、学びを深めていきます。

プログラム内容は、専門機関と連携しながら、子どもの発達段階に応じたものを独自にデザインしています。

2年生「象さん、歯あみがけ〜!」  
物が混ざり別なものができる現象を体験し、化学反応に関心を向けていきます。



4年生「リトルピッツでSOS!」  
身の回りの様々な電子機器が、回路の組み合わせでできていることを学びます。



5年生「3.11を忘れない」  
霧箱実験や放射線の測定を行い、放射線とのつき合い方や避難について考えます。



6年生「バラスポーツ、ってなんだ?」  
トップアスリートの堀江航さんと一緒に車いすバスケットボールに挑戦します。



Focus 07 ニトベの情報教育

アウトプットをさらにクリエイティブにするために



これからの時代に必要不可欠となる、デジタルデバイス。新渡戸文化ではiPadを子どもたちの「可能性をひろげる道具」と位置づけて、情報教育に取り組んでいます。教育用プログラミング・ツールでプログラミング的思考を養い、iPadのさまざまなアプリを使ってクリエイティブな表現方法を身につけます。子どもたちは、デジタルデバイスならではのクリエイティビティに溢れた作品を生み出すことができるようになり、情報授業がプロジェクトを推進する大きな原動力になっています。

非認知能力を伸ばし、  
社会を生き抜く力を育てる

学力だけでは生き抜くことができない社会が到来しています。私たちはそんな不確実な社会を生き抜く子ども達を育てるため、非認知能力を伸ばしていくことを目指します。非認知能力とは、学力やIQなどのようにテストで測ることが難しいさま

ざまな能力のことです。(右表参照) 本校のプロジェクト型学習は子どもが主体となる独自のプログラムで、非認知能力が伸びていきます。その結果、関連する教科の学びにも興味をもち、テストや入試につながる学力も自然と伸びていくのです。

非認知能力が高い子どもの特徴

- 自分に対する自信がある、やり抜く力がある
- やる気がある、意欲的である
- 忍耐強い、粘り強い、根気がある、気概がある
- 意志力・精神力が強い、自制心がある
- 理解度を把握する、自分の状況を把握する
- リーダーシップがある、社会性がある
- すぐに立ち直る、うまく対応する
- 創造性に富む、工夫する
- 外交的、好奇心が強い、協調性がある、誠実

表は、Gutman, L. M. & Schoon, I. (2013). "The impact of non-cognitive skills on outcomes for young people." Education Endowment Foundation を参考に作成

# もっと知りたい もっとやってみたい もっとつくりたい

教室、教科、学年。

これまでの学校の仕組みを越え、児童も先生も、ともにつくり、ともに学ぶ。

日常で生まれる「問い」や「興味」を、さらに深める。

アート、サイエンス、テクノロジーを駆使し、多様な価値観を持つ人たちと共創しながら、  
自分の想いをかたちにしよう。



## VIVISTOP NITOB E

## 子どもたちが創ってみたいモノ・挑戦してみたいコトを 大人たちがサポート

「あそびと学びのクリエイティブ・フィールド」、VIVISTOP。学校の中には世界で初めて、2021年4月に新渡戸文化小学校内にフルオープンしました。

のこぎりで木片を加工したり、自分で設計した部品をレーザーカッターで切り出したり、最新のプログラミング・ブロックパーツを使ってロボットをつくったり。VIVISTOP NITOB Eにはさまざまな設備やしつけがそろっています。授業の時間は、みんなで社会とつながるクリエイティブなミッションの達成を目指す。放課後の時間は、自分が望んだものを、大人とも協働しながら、自分のペースで生み出していく。時間、教科、学年を越えて、子どもたちの想いがかたちになります。



 <https://www.nitobebunka.ac.jp/vivistop/>



 [https://www.instagram.com/vivistop\\_nitobe/](https://www.instagram.com/vivistop_nitobe/)



ここでは毎日、年齢も職業も異なる色々な人が集まって、アイデアが飛び交い、さまざまなモノ・コトが生まれています！今日は何が起きるかな!?

### こんな活動がうまれています

#### FURNITURE DESIGN PROJECT



VIVISTOP NITOB Eで実際に使用する椅子を、5年生がデザイナーと一緒にアイデア発想、図面制作、模型制作、発注書づくりなどを試行錯誤しながら実施。オンラインで高知県佐川町のデザイナーや林業関係者とつなぎ、木材や林業を知る取り組みや、木の加工までを共に進めました。デジタル工作機械を活用しながら、最後は自分たちの手で椅子を完成させました。今では多くの人が座り、皆に愛されています。この取り組みは、キッズデザイン賞2021年度内閣総理大臣賞（最優秀賞）を受賞しました。



どうしたら座り心地がよくなるのか、椅子の背もたれの角度を何度も考えて作りました

#### 境界線をなくす Eliminate Boundaries



株式会社Innovation Designと株式会社モノファクトリーと一緒にモノの循環、ゴミ問題、地球について手を動かしながら学びました。“不要になったモノ”＝素材（マテリアル）に触れ、対話をし、モノの背景を想像しました。それをどのように使えばいいのか、“不要になったモノ”を長生きさせるアイデアを生み出し、制作を通じて、素材（マテリアル）の価値を創出していきました。子どもたちの作品は、2021年7月～9月まで、渋谷スクランブルスクエア14階のhaishopにて展示・販売されました。



私たちの作品をお客さんに買ってもらえてすごくうれしい！長く大事にもらえるといいなあ



アフタースクール

## 本気で遊べば、「得意」に変わる



### POINT 1 働く保護者を徹底サポート



**必ず全員受け入れ**  
定員はなく全員を受け入れ。急な用事の場合もスポットで利用可能。



**安心・安全のお知らせと送り迎え**  
入退室はメールでお知らせ。17時半以降は最寄の駅・バス停まで送迎。



**台風・大雪等学校休校時でも開室**  
長期休暇時はもちろん、悪天候による臨時休校時なども朝7時半から開室。



**夜7時まで開室**  
通常時は夜7時まで開室。保健室には看護師さんが夜7時まで常駐。



**毎日のおやつと便利な昼食**  
毎日おやつを提供。また、長期休暇時も、通常通り手づくりの給食を提供。

### POINT 2 放課後の過ごし方は自分で決める



アフタースクールは自由な時間。友だちと遊ぶ、学習に取り組む、おやつを食べる、好きなプログラムに参加する、ものづくりに挑戦する、何もしないでボーっとする。過ごし方は自分で決めます。

### POINT 3 子どもたちの「自律」を目指す



自律の第一歩、「時間管理」は将来必ず必要な力です。帰宅時間に間に合うように支度する、プログラム開始に間に合うよう場所を移動するなど、大人に依存せず自分で行動します。

### POINT 4 放課後は学校全体が遊びの場



他学年の友だちと自由に過ごせる2つの広いメインルームの他、体育館、グラウンド、ガーデン、音楽室、教室などさまざまな場所で思い思いの過ごし方ができます。

### POINT 5 子どもを「主語」に考えるスタッフ



スタッフは学生から主婦の方まで多様です。閉室後のミーティングや定期的な研修で真剣に子どもを「主語」に、子どもたちの「やりたい!」を実現するため語りあっています。

### POINT 6 長期休みも本気で遊ぶ



夏休み等長期休み中は毎日イベントを実施。演劇鑑賞や美術館訪問など外出も。自らキャンプやカフェなどさまざまなプロジェクトに取り組み、貴重な体験が得られる機会です。

POINT 7 多彩なプログラム

# プロから教わり、「本物」に出会う

20種類以上のプログラムから自由に選べ、自分の「好き」や「得意」を見つけ、とことん探求できる。そんな環境がアフタースクールには揃っています。

剣道 週4



講師/目黒雅也  
剣道六段

剣道の基礎、武道ならではの礼儀作法を身につけます。中高生と一緒に練習します。

サッカー 週5



講師/森山大可  
NPO法人Sports Unity

毎月一つ課題を設定して技術の向上を図ります。週末は新渡戸SCの活動もあります。

バスケットボール 週2



講師/青野和人  
Bリーグ 越谷アルファーズ  
アソシエイトコーチ

チームプレーを大切に、低学年はボールに慣れること、高学年は実践的な練習を行います。

チアリーディング 週3



講師/折原裕子  
恵泉女学園高校 チアリーディング部 BLAZERS出身

仲間と協力し合い助け合う団体スポーツです。2年生以上は大会に出場します。

卓球



講師/国広哲弥  
全日本マスターズ30代第3位、  
日本卓球協会公認卓球五段

最近、人気急上昇中の卓球。マシンも導入し、基本からしっかり練習します。

体操



講師/コスモスポーツクラブ

マット運動、鉄棒、縄跳び、跳び箱など、さまざまなことへ挑戦。基礎体力と物事を諦めず最後まで挑戦する姿勢を育てます。

ダンス 週2



講師/RINA  
プロダンサー、パーソナルトレーナー

低学年は音楽に合わせる楽しさを学び、高学年はチームとして難しい振り付けに挑戦します。各種発表会にも出場します。

バレエ



講師/齋藤夢佳  
SHOW BALLET JAPAN

コンセプトは「毎日が発表会！」。バレエの基礎や品格を身に付けながらバレエの代表的な音楽に合わせて踊る時間も取ります。

マンガ



講師/風屋ロツサリ  
漫画家「もち」アシスタント

マンガに必要なストーリーやキャラクター作り、またつけペンを使用した作画技術習得などに挑戦します。

アート



講師/小林真衣子 もみじやま絵画教室主宰、  
椽本蓉子 陶芸家、桜岡みゆき 画家 ほか

1年生は絵画・造形、2年生以上は陶芸・絵画・絵本作りなどさまざまな分野に挑戦します。

ピアノ・フルート・ヴァイオリン



講師/櫻井あづさ、鈴木久仁子、大橋英莉、  
田中秀子

個々の進度に合わせたレッスンで、初心者でも気軽に始められます。発表会も予定しています。

プログラミング 週2



講師/STEMON、FLL

低・中学年はSTEAM教育をメインとしたものづくりでプログラミングの基礎を、高学年になるとFLLでレゴを使った課題解決型ロボットを制作します。

英語 週2



講師/KES、Lepton

自律型英語教室。聞く・話す・読む・書くの英語4技能を学び「使える英語力」を習得。TOEIC® TestにつながるJETテストも行います。

そろばん 週4



講師/菅野明成  
珠算五段、暗算六段

そろばんを通じて、一度身につけると一生使える計算の基礎・数値感覚を養成します。

書道



講師/田中葉奈  
毛筆書写技能検定最高位一級

「字に上手い下手はない」「書道は自己表現の一つ」という考え方でポイントを押さえて教えます。作品展へも出展します。

大会

- ・チアリーディング  
USA Regionals 2021 東京大会 Youth編成 Cheerleading部門 LEVEL1 Small 第3位
- ・プログラミング  
ファーストレゴリーグ (FLL)  
2019東日本大会出場、  
マイクラカップ2021出場



- ・サッカー (新渡戸SC)  
中野区少年サッカー連盟  
2020年度会長杯  
1、2年生の部 グループ1位通過

作品展

- ・書道  
臨書と自由書作品展  
特選、特別賞、佳作

発表会

- ・新渡戸祭  
・アフタースクール発表会  
アートスタディday、  
スポーツday

## プロジェクト

子どもたちの「やりたい！」から生まれたプロジェクト。すべて本気の取り組みです。



### おやつプロジェクト

おやつをもっと楽しく食べたい！と考えたメンバーによる、星形機の制作。プロのデザイナーからも助言をいただきました。



### マイクラカップ

マイクラフトを使い、SDGsのテーマに沿ったフィールドをみんなで協力して制作。本気で大会出場を目指します。



### キャンププロジェクト

すべて子どもたちが1から企画したみんなで楽しめる夏のイベント。当日の司会も子どもたちで行いました。

# 彩りのある学校生活や行事

日常の学習の時間以外にも、給食・クラブ・学校行事を大切に、子どもたちがさらに成長できる機会にしています。「自主性」をキーワードに、子どもたちが選択・決定することを心がけています。



## 給食

日本初の農学博士でもあった新渡戸稲造先生の理念により、本校では「食」を大事に考えています。毎日の食事は子どもの健やかな心と体を育み、未来を育むとても大切なもの。昼食は子ども園から高校まで校内で手づくりし、子どもたちは温かくて栄養も愛情もたっぷりの食事を毎日楽しんでいます。

### 栄養士による「安全」「安心」「愛情」の調理

食品添加物を使用しない、国内生産のものを使用するなど、素材も十分に吟味。1日に必要とされる30品目のうち15品目の食品を給食で摂れるように配慮しています。



### 子どもたちも大好きな美味しさ

好き嫌いをなく食べるのを楽しめることは人生の宝物。子どもたちから好評なレシピが保護者の中で話題となり、本校の給食レシピ本が発売されています。



監修：学校法人 新渡戸文化学園 著：鮑子奈緒美 新潮社刊

## 多種多様な大人との出会い



### 著名人を招き、「志」を育む「立志塾」

さまざまな分野の著名人をお招きし、本物の「志」に触れる立志塾。経験豊かな大人たちの話に、たくさんの刺激を受けます。



### プロジェクトを通じた「本物」との出会い

学びを深めていくと、「その道のプロ」に話を聞いたり、教えてもらったりしたくなるものです。新渡戸のプロジェクト型学習は、社会に開かれた学び。多くのプロフェッショナルと出会い、学ぶ機会を得られます。



### 運動会は子どもたちが作り上げるイベント

運動会の運営も「自主性」がキーワード。どんな種目をいれるか、種目名、種目の内容、チームの分け方、流す音楽まで、自分たちで決めます。自分たちで作上げた運動会だからこそ、達成感があります。



みんなで作ったよ！



まるぬまキャンプ



冬の教室

## 年間行事スケジュール



富士研修

大自然を満喫！



- 4
  - 入学式・始業式
  - 1年生歓迎会
  - 歩く会
- 5
  - 全校授業参観日
  - 親子交流会(1年)
  - 農業体験学習・田植え(4年)
- 6
  - 運動会
  - 農業体験学習・田植え(4年)
  - 音読発表会(1~4年)
  - 富士研修(5年)
- 7・8
  - コース別夏キャンプ(4~6年)
  - まるぬまキャンプ(2・3年)
- 10
  - 遠足
- 1
  - 新渡戸祭
  - 創立記念日(10月16日)
  - 農業体験学習・稲刈り(4年)
- 2
  - 冬の教室(3・4年)
  - 球技大会(5・6年)
  - スタディフェスタ
  - 伊勢志摩研修(6年)
  - 音読発表会(1~4年)
- 3
  - 修了式
  - 立志式(4年)
  - 6年生を送る会

遠足

※2019~20年度実績を基準に記載しています。新型コロナウイルス対策および新たな教育方針に基づく改訂のため、来年度以降行事内容を変更する可能性があります

# 未来をつくる人が集う学び舎

リラックスしながら「もっと知りたい!」とチャレンジを楽しめる環境。  
 総合学園ならではの多世代共有スペースは、互いに多様性を受け入れながら協創する場所。  
 子どもたちが「未来は自分で創れる」という実感を持ち、自然と笑顔がこぼれる学び舎を、今後も進化させていきます。



## ブックフォレスト & 多目的ルーム

階段やクッションがあり、子どもたちは好きな姿勢で、本に夢中になることができます。



## 2021年夏より 小学校の教室を 順次リニューアル中!

コンセプトは「温かくてシンプル」な教室。床やドアなどは木目を生かしたナチュラルな雰囲気、教室の背面は淡いブルーやグリーンで彩られています。子どもたちにとって、自然とリラックスして笑顔になるような空間になっています。この教室のリフォームには、6年生のアイデアが取り入れられています。木目調の床やロッカーも、色を与える心理的効果について子どもたちが調査した成果が採用されています。



**Nitobe theater** 新しくできた、学校の中にある「映画館」。大迫力のあるスクリーンがあります。



**新渡戸キッチン** 食育で高評価をいただく本校の自慢のキッチン。つくる、食べる、つながる笑顔があふれます。



**ガーデン** 中央のクスの木に見守られ、芝生の上を駆けまわったり、寝転がったり。大人気のスポット。



**音楽室** 「音楽」×「体育」でダンスもできる広い音楽室。子どもたちが全身で喜びを表現できる空間です。



**グラウンド** 全面天然芝で、思いきり走り回れます。(学園全体で共有)



**ボルダリングスタジオ** 2021年新設。難易度がさまざま、挑戦しがいがあります。

## 最新のIT技術と常駐警備員による、強固なセキュリティ

### 登下校メール



SuicaやPASMOを使った登下校メールシステムを使い、児童の登校・下校時刻が確認できるメールがご家庭に届くことで、大きな安心材料となっています。また、緊急時、児童の位置確認や連絡用に携帯電話の所持も許可制で認めています。



### メール連絡網システム「マチコミ」

学校からご家庭へは、メール連絡網システム「マチコミ」を利用して、迅速かつ確実に情報を共有します。スマートフォンからは、メールだけでなくアプリでより便利に。欠席や、検温報告もアプリで連絡が可能です。



### 小児科オンライン

体調が悪いけれど、病院に行けない時などに、現役の小児科医にオンライン相談ができます。どんな小さなことにも丁寧にアドバイスしていただける、安心のシステムです。

## 学級運営

### 複数の大人が寄り添い見守る体制

本校では、1学年を3人の教員がチームとなって担当します。複数の大人の目で見守ることで、子どもにとって開放的で公平な学級運営を実現します。教員としても余裕が生まれ、子どもと接する時間が増えるため、子ども同士の人間関係トラブルを未然に防ぎやすくなります。



## 制服

### 自分でコーディネートできる人気の制服

2017年にフルモデルチェンジ。品位と風格を漂わせるグレーの生地を用いて、都会的なセンスを感じさせるデザインに仕上げました。赤やグレーのセーターなどコーディネートを自分で選べる工夫が好評です。ご家庭で洗濯できる素材ですので、子どもたちは何事にもアクティブに取り組めます。



# 新渡戸文化学園は、 新たな次の100年に向けて 挑戦を始めています

1927年に創立された新渡戸文化学園は、2027年に創立100周年を迎えます。

国際社会で活躍された新渡戸稲造先生と森本厚吉先生の  
建学の精神を受け継ぎ、人格教育に力点をおく、あたたかな学園運営をしてまいりました。

国際性や多様性、持続可能な開発目標（SDGs）など、  
変化の速い時代に合わせて、さらに変革を続けてまいります。

次の100年に向けて、日本中の学校が目標にする教育機関に進化することを目指します。



初代校長  
新渡戸稲造 博士  
(1862~1933)

旧五千円札の肖像として、また、日本の精神文化を流暢な英語で紹介した「武士道」の著者としても知られている新渡戸稲造博士。女子経済専門学校（現：新渡戸文化学園）の初代校長に就任した際に語った、「親心をもって教える教師による愛の学校でなければならぬ。」という言葉を受け継ぎ、生徒一人ひとりの人格を尊重した教育を実践しています。



創立者  
森本厚吉 博士  
(1877~1950)

優れた学者として政府の要職を歴任し国際的にも著名であった新渡戸稲造博士を校長に招いたのが、札幌農学校時代の教え子である森本厚吉博士でした。森本博士は「男女が同じように働かねばならない」という信念のもと、「実際に役立つ教育」という教育目的を掲げました。新渡戸博士の「人格教育」と森本博士の「実践教育」が融合してできたのが本学園です。



## 新渡戸文化中学校

学園が最上位目標として掲げる「Happiness Creator」を目指して、自分と世界の幸せを作り出すための学び。それを実現するために、新渡戸文化中学校では「思考を支える豊かな学力」「自ら問いをたてて考え抜く課題解決力」そして「リアルな社会とつながる行動力」を育成するカリキュラムを展開しています。

少人数ならではの強み、そして充実した施設と魅力的な教師陣は生徒たちの学びに対するモチベーションを一層高めています。



## 新渡戸文化高等学校

中学校同様、小学校と同じキャンパス内にあり、4つのコースを備えた普通科課程の学校です。それまで培ってきた自律型学習者のマインドは主体的に考え行動し、責任をもって社会変革を実現していく力“学びの羅針盤”へと成長します。それぞれが幸せにしたい世界に向かって知性を磨き、スキルを身に付けます。

専任教諭に加え、コースに合わせた併設短大教授やプロフェッショナル講師陣による授業が生徒一人ひとりの進路を豊かにひらきます。

自分のやりたいことを  
極める4つのコース

- 探究進学コース  
(医療系・理系・文系)
- 美術コース
- 音楽コース
- フードデザインコース

## 自ら学びに向かう力を持った 「自律型学習者」の育成を



新渡戸文化小学校  
校長  
杉本 竜之

自分なりの考えを持ちつつ、多様な他者と共存・協調し、問題や課題を発見、解決し、主体的に行動できる。

これはさまざまな文化や価値観が混在する社会を生き抜くために必要な力です。このような力は、基礎基本の学習内容を確実に習得し「自律型学習者」として学び続けることによって身につけることができます。

そのために私たちは、本校の伝統である「どの子も我が子」の精神で一人ひとりの子どもたちを丁寧に支援してまいります。

## 未来を共に創るパートナー NITOBE FUTURE ADVISER

新渡戸文化学園の理念に共感し、教育活動へのアドバイスや社会にその取り組みを発信してくれる心強い応援団です。

アドバイザーの方々からは生徒や保護者に向けた特別授業や講演も予定しています。ご期待ください！



大空小学校  
初代校長  
木村 泰子さん



慶應義塾大学大学院  
システムデザイン・  
マネジメント研究科 教授  
前野 隆司さん



花まる学習会代表  
NPO法人子育て応援隊  
むぎみ理事長  
高濱 正伸さん



エシカル協会 代表理事、  
ユネスコ 広報大使  
末吉 里花さん

コモンズ投信株式会社  
取締役会長 兼 ESG最高責任者  
渋谷 健さん  
明蓬館高等学校 学校長・理事長  
日野 公三さん  
FutureEdu 代表理事  
竹村 詠美さん  
株式会社 morich 代表取締役  
森本 千賀子さん  
ラーネット・グローバルスクール 代表  
炭谷 俊樹さん  
Think the Earth 理事、  
多摩美術大学 客員教授  
上田 壮一さん  
日本パラリンピアンズ協会 会長  
大日方 邦子さん

ほか、多数！